

「これからの日本、岡山」シンポジウム

分散型国土へ

取るべき道は

作家・高嶋哲夫氏の基調講演では、感染症や災害、教育の遅れなど日本の行き詰まりが示唆された。シンポジウムでは講演内容を踏まえ、これからの日本、岡山が取るべき道について、高嶋氏を含む5氏が話し合った。進行役は山陽新聞社の岡山一郎論説主幹。(文中敬称略)

子どもたちの誇りに



いし・きなり 大手家具メーカー勤務を経て石井事務機セクター(現「スクエアビル」)に入社。2017年専機18年岡山青年会議所会22年理事長。岡山出身。40歳。

突出策が人呼び込む



かねうら・じゅんこ 大手旅行会社を引退した後、西日本養育施設「かにのこころ」(防炎施設)の施設長。株式会社エンパル(倉敷市)を設立し社長。岡山市出身。50歳。

経済の地域循環必要



なかむら・りょうせい 京都大工学部卒、筑波大大学院社会学部研究科修。1994年岡山大経済学部教授。2018年岡山大大学院文化科学研究科特任教授。高松市出身。69歳。

失敗許される風土を



なかしま・ただまさ 2021年4月吉備高原オープンイノベーション協会設立より会長。ナカシマホールディングス社長。岡山県経済団体連絡協議会会長。岡山市出身。75歳。

晴れの国「アピール



出席者(順不同)	
作家	高嶋 哲夫氏
吉備高原オープンイノベーション協会会長	中島 基善氏
岡山大学院特任教授	中村 良平氏
株式会社エンパル社長	金藤 純子氏
岡山青年会議所理事長	石井 聖至氏
進行役 岡山一郎・山陽新聞社論説主幹	



日本や岡山の将来を話し合ったシンポジウム

●国と地方の現状

高嶋さんの講演は、東京の大規模災害が懸念される一極集中から脱せないという国土構造を指摘した。シンポジウムではまず、国や地方の現状を感じることをそれぞれの立場から話した。中村、国内人口の東京シフトはパル大期の1980年代後半より最近の方において上昇率が大きい。東京への人口集中は以前にも増して進行し、地方創生と逆行しているのが分かる。他のデータではカネやモノの東京集中は人口より顕著。半面、ライフラインなど一極集中の脆弱性が随所に現れている。

金藤 西日本豪雨では高齢者弱者への支援の必要性が明らかになった。一方で地震も洪水も災害への危機感はまだ自覚が足りない。対策を考えず無知のままの自覚だ。

中島 多様な機能の集積はビジネス面ではとても効果的。ただ東京がためになると日本全体がためにならないうまく。首都直下型地震などが予測される今、何とかしないといけない時期に来ている。

石井 高嶋さんの講演で地震や富士山噴火がリアルに迫っているのを知った。一極集中も中村先生の冒頭の説明でより明確に浮かび上がった。真剣に向き合うべきであらためて思った。

高嶋 出版関係の役割が集まる東京がやられたら、僕は仕事ができない。諸機能の地方分散は不可欠だ。

●吉備高原都市

こうした現状を踏まえ、日本や岡山は今後どうすれば良いか。高嶋さんの小説「首都崩壊」で首都圏に設定されたのが岡山県吉備高原、吉備高原都市(吉備中央町)では小説を地で行くような都市づくりが始まることとしている。

中島 縁あって吉備高原への新産業の集積を目指す取り組みに関わっている。K.O.I.A.吉備高原オープンイノベーション協会という産官学組織を昨年立ち上げて産官学連携、セミナーも開催している。岡間は国が今春より指定したデジタル田園健康特区の一つ。デジタル技術を使った中山間地の医療革新にも取り組む。吉備高原から新たな風が吹けばと思っている。

中村 吉備高原都市は40年ほど前にテクノポリスの一環として新たに造られた街。計画通りに進まなかったことが多かったが、現在はIT(情報技術)の発達により地方発のサービス展開が可能になった。地域固有の資源をサービス化した売り出し事例は増えている。

金藤 西日本豪雨をきっかけに防災啓蒙に取り組む会社を立ち上げた。支えてくれたのが東京・渋谷の起業支援機関。ミーティングを通して自分の問いを深めるサポートをしてくれた。吉備高原でも金藤だけでなく価値創造のノウハウを受けられる環境があれば。

高嶋 「晴れの国」と呼ばれる気候の良さや災害の少なさといった岡山の売りをもっとアピールすべき。こうした土地で何ができるか、時には外部の人に遠く目線で考えてもらうのも重要。

●女性の転出増加

東京一極集中に絡み、岡山県の男女別人口流出数を山陽新聞社で独自に調べると、2000年以降は女性が男性を上回っていた。若い年齢層の流出が目立ち、地方に定住する未婚率の上昇や少子化を加速させていることが分かった。

金藤 女性の短大卒の人数が減少している。IT産業が盛んになり、東京の大手企業やリサーチなど高学歴の女性を積極的に採用した。女性とすれば仕事も面白く責任も与えられる。頑張る女性が出ていくのは当たり前だ。

中島 女性の転出増加はゆとり世代。ただ大卒女性は男性より前向きな人が多く、大企業が採用するものも少なくない。東京に出た女性が主人を連れて吉備高原に戻り子育てしながら起業する。そんな場所になれば。

金藤 日本企業では社員が育児や介護で苦労している。がまんして済まされる。ある外資系企業が社員の配偶者まで手厚く支援しているのは対外的。地元企業も何か突出した策があれば、岡山で働こう、ということになる。

石井 就職時の流出が多い。岡山にも都会に負けない企業はたくさんある。自成長や社会貢献ができる魅力的な会社であることとどうも発信する必要がある。

中村 国の調査では、首都圏居住者の地方移住への関心がコロナ禍以降、少しずつ高まっている。地方がこんな仕事ができる人に来てほしい。と主体性を持って呼び掛ければ、多くの人が出てくる可能性がある。

高嶋 東京が人を引き付けるのは魅力的な業種があるからに尽きる。岡山にクールワークやアプルを引っ張って、これは世界中から人が集まる。魅力あるところを人が集まると、とっかかり考えてみては。

●魅力拡散と自立

岡山の魅力をもっと広め、自立していくためには何が必要か。

石井 子どもたちが岡山に誇りを持つようになればいい。岡山青年会議所では、うらじや、など地域に活力を与える多くのイベントを行っている。大人が本気で取り組む姿勢を子どもにも伝えてほしい。

中村 地方の東京依存をなくさないといけない。自治体もどう交付税が結局東京の企業に環流してたり、金融機関の預貯金も地方に投資先がなければ中央に出ている。東京へ進学して七つへの仕送りの総額は地方中核都市の標準財政規模に匹敵する。こうした流れを断ち切るにはお金を地域で回す仕組みが必要となる。やりとりする商品やサービスは地域特化型が良い。例えば吉備中央町では医療、養老院なら子育て関連のサービスをITを使い提供しよう。こうした経済循環を県、中国地方と広げていくことで持続可能な地域づくりが可能になる。人の循環も必要。活発に往来して新陳代謝をよすれば新しいものが生まれる。

高嶋 岡山の枠を取っ払うのも視野に入れておきたい。経済的発展にはある程度の広さや人口がいる。中国地方が一つにならなければ、優秀な外国人を呼び込むのも選択肢の一つだ。

金藤 一番変わらないといけないのは自治体。兵庫県明石市では保育園の使用済み紙おむつの持ち帰り廃止という子育て支援を決定。全国の中核市で人口増加率は一位だ。どこにもない飛び抜けた施策が魅力ある地域づくりにつながる。

石井 一極集中は地方共通の問題だが、岡山は災害が少ないという他都市にない地の利がある。強みを生かしたまま、ついでに私たち若者が中心となって取り組みたい。

中島 経済的な支援にも増して、失敗しても許される風土が必要だ。今までは国では、失敗すればほろほろに言われかねない。挑戦しなさい、という風土が育まれば、必ずいいことが起きる。

みんなで一歩を踏み出そう。地域の一歩を応援します。

ASANO 浅野産業株式会社

Asahi アサヒビール株式会社

旭ホールディングス株式会社

荒木組

日本コンクリート工業グループ NCプレコン株式会社

OG Wellness Wellness and Beyond

大木組 OHMOTO

オカネツ

岡山学芸館高等学校 清秀中学校・高等部

助けあいの心から生まれた保障 岡山県民共済

おかやま信用金庫

笑顔につづく、道を走ろう。 岡山トヨタ

岡山トヨペット

岡山マツダ

KAAZ

岡山理科大学 倉敷芸術科学大学

KANKO カンコー学生服

弁護士法人 菊池総合法律事務所

廣栄堂 安政三年創業 岡山中納言角

(株)康進建装 KOSHIN

コングレグループ KONKEN

夢みる力が、未来をつくる 三幸工務店

学校法人 山陽学園

山陽ヤナセ いいものだけを世界から since 1948

「おいしい」をキチンと サラヴィアン

JAグループ岡山

岡山夢葉匠 教島堂

おかげさまで60周年 SHIGETO 重藤組

一生のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group

大和クロス株式会社

鷹取醤油 1905年創業

中国銀行 ひとよびとつながる私たちのまちづくり 中国建設工業株式会社

デンシヨク DENSIOKU

TENMAYA

DOWAホールディングス株式会社

TDS 徳山電機製作所

トマト銀行

TOMIYA

トヨタカラー岡山

トヨタレンタリース岡山

NAKASHIMA We Go Beyond

NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

ネッツトヨタ岡山

ネッツトヨタ山陽

楽しい元気に変える! VIS-À-VIS

備商

備前自動車教習所

HIRAKIN

Fujiwara

プロツアー スポーツ

benhouse ベンハウス

源吉光庵

三好野本店

両備グループ